

第8期朝来市障害福祉計画・第4期朝来市障害児福祉計画策定部会（第2回）議事録

1 開催日時 令和8年9月28日（月） 午後1時30分～午後2時50分

2 開催場所 朝来市役所本庁舎本館4階401、402会議室

3 出席委員 15名

馬場 民生 中井 寿美 小山 哲也 嵯峨山 泰弘 守本 明枝 西田 利枝 池田 美和子
山中 秀基 成田 恵祐 前田 裕 青田 久美子 衣川 桂子 藤本 武宏 原田 友紀
小川 明美

4 欠席委員 0名

5 事務局

大石 哲也（健康福祉部長） 北島 周（社会福祉課長）
藤本 真由美（社会福祉課長補佐兼障害福祉係長） 小畑 知見（社会福祉課主任）

6 サーベイリサーチセンター（SRC）

片山 良巳（主管研究員）

7 会議の経過、議題及び結果

(1) 開会 …北島課長

(2) 部会長あいさつ …小山部会長

(3) 第1回策定部会での質問に対する訂正と補足説明 …事務局

(4) 議事 …小山部会長

①計画素案について検討

ア 目次構成と章立てについて

SRCから計画素案により説明

イ 第1章 計画の策定にあたって

SRCから計画素案により説明

ウ 第2章 障害のある人を取り巻く状況について

事務局から計画素案により説明

エ 第3章 計画の基本的な考え方について

事務局から計画素案により説明

オ 第4章から第6章の概要について

SRCから計画素案により説明

委員）施設入所者の目標値として、減少（見込み）数5人、地域生活移行数4人という
数字が挙げられているが、退所者としてどのような方を想定しているのか。

- SRC)** 数値は国の考え方に従って算出している。地域移行者数は令和7年度末実績から6%以上としており、令和7年度時点の施設入所者数が81人のため、令和11年度末の目標値は4.86人減となり、5人と設定している。
- 委員)** 高齢化に伴い、施設入所を望む保護者は非常に多い。実際の施設入所者は増えていく傾向にあると感じる。退所者の受け皿も必要である。「減少」ということで数字だけ挙げるのは机上の空論だと思う。
- 事務局)** 施設入所者が地域生活へ移行するのは、現状では容易ではないと考えている。施設長をされている部会長にお尋ねするが、施設に地域生活へ移行できる可能性のある方がいるか教えてほしい。
- 部会長)** 施設から地域生活へ移行する方はほとんどいないのが現状である。地域生活への移行には就労の機会等、さまざまな条件が必要になる。
- SRC)** 他市町村でも地域移行は難しく、人数設定を0人としている自治体も多い。施設退所の理由は死亡または病気が大部分である。大都市においても一般就労を通じた地域移行は困難である。国が示す6%という数値についても議論が必要かと思うが、国の計画であるため目標値として掲げざるを得ない。
- 委員)** 施設入所の順番待ちをしている人がいる中で、施設入所者の目標値が「減少（見込み）」と記載されていると、実態と違うと感じる人がいると思われる。
- 委員)** 施設入所者の人権問題もあり、施設では意思決定支援の取組を行っている。施設や相談支援専門員は、施設入所者がグループホームや在宅に帰られようと考えたり、自立支援協議会でも在宅に帰るために必要な力を付ける取組をしていると思う。私たちもその方たちの支援をするよう考える必要がある。力のある方がグループホームや在宅へ移行する取組をしなければ、入所希望者が入所できないという問題も解消されない。
- 委員)** 計画素案35ページの強度行動障害を有する人への支援体制の整備について、令和7年度末時点の実績が「整備」、第7期障害福祉計画の54ページ、第7期計画の令和8年度末目標値が「構築」となっている。該当者を把握して整備できているという認識でよいのか。
- 事務局)** 「構築」「整備」という用語については再度整理する。現状としては、把握して個別に対応しているということをもって、「構築」「整備」としている。
- 委員)** 計画素案49ページ、日中活動系サービスの第7期の計画値と実績値について、短期入所（ショートステイ）の令和7年度の実績が大きく下がっているのは、事業所の廃業等の影響があるという話があったが、そうした状況を考慮して計画を作成してほしい。今後、地域移行を進めるためにも短期入所（ショートステイ）は必要になると思う。今後、新たに短期入所施設ができる可能性はあるか。
- 事務局)** 現時点では、短期入所（ショートステイ）のサービスが増えるという情報は把握していない。
- 委員)** 実績と分析があって、計画を進めるにあたっての市の目標設定の考え方を示し、その上で現状分析をし、次にすべきことを示す必要がある。その時に目標値を設定すべきである。そうでなければ計画の意味がなく、計画を作る必要もない。
- 事務局)** より具体的な見込み値をお示しし、議論を深めていただきたかったが不十分であった。11月の策定部会で見込み値、目標値、朝来市としてどうするかという考え方を示す。

部会長） 計画素案 41 ページ、重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保について、令和 7 年度末の実績値、令和 8 年度末の目標値がいずれも 0 カ所となっている。令和 11 年度末までの目標値も 0 カ所でいいのか。例えば、令和 11 年度末までに 1 カ所は確保するのであれば、その旨を記載してもいいのではないか。このまま令和 11 年度末まで 0 カ所であれば、果たしてこの項目はいるのか。

事務局） 国の基本的な考え方として、市町村または圏域で事業所を確保することとされており、事務局としても重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所は必要不可欠なものと認識している。そのため、0 カ所ではなく、実態に合わせた回答をしたいと考えている。

部会長） 本日の議題は以上。

②その他

(5) 閉会 …北島課長

①第 3 回策定部会について

11 月 30 日（月）10 時 00 分 朝来市役所本庁 401、402 会議室にて実施予定